

クラス番号	602	担当教員名	木戸 利秋
テーマ	地域文化と福祉の接点から地域づくりを考える －行政と地域社会のコラボレーション－		
著書・論文 研究課題等	木戸利秋編『新潟の在宅ケア－新しい世紀をみつめて－』とき書房、2001年 木戸利秋編『その笑顔がみたいから－福祉改革期と穂波の里の10年－』萌文社、2004年 共著『福祉社会開発学－理論・政策・実践－』ミネルヴァ書房、2008年 研究課題：地域ケアと住民自治、イギリスの貧困・社会的排除研究		

ゼミナール概要

キーワード：地域文化、集落自治・住民自治、条件不利地域、地域福祉

目的、内容、方法等：

人口減少社会の日本の特徴として、地域から均等に人口減少していくのではなく、地方から大都市へ不均等な人の流れが加速していきます。もうひとつの特徴は、外国人労働者の流入による地域の人口構成の変化です。こうしたなか地方自治体の存続が問われてきます。これから公務員や社会福祉、企業等の団体職員として仕事をしていくとき、まず求められるのは多様な人々で構成される地域社会の理解であり、それには自然、産業、暮らしを支えてきた地域の文化への理解が欠かせません。そしてこの地域文化は、生活の便利さと快適さのために地域文化を切り捨ててきた都市部よりも条件不利地域の方が比較的残っている現状があります。

そこでこのゼミでは条件不利地域を主な研究対象としておきながら、一方ではマクロレベルでの地域再生の議論の動向に注意を払いつつ、社会福祉の側において地域の再構築にどのように関わって行けばいいのか、行政と地域社会の役割を明らかにしていくことを課題とします。条件不利地域のなかで、なぜ住民はそこに住み続けたいと思うのか、豊かな自然環境、地域の伝統文化に囲まれた暮らしが、地域への愛着の形成、住民間のつながりの形成に肯定的に作用している可能性があります。現在、国が福祉の公的責任を縮小しながら、地域に受け皿づくりを委ねようとしています。文化をキーワードに地域づくりを進める条件不利地域は、地域福祉をボトムアップでつくりあげていく可能性を示すものです。

まずゼミでは、前期、介護民俗学に関する文献を読み、高齢者施設の利用者の暮らしと文化を捉える視点を学びます。そのうえで美浜キャンパス近くの高齢者施設で利用者の生活史を聞き取るフィールドスタディを行います。後期は佐渡へのフィールドスタディの準備と卒業研究の準備を行います。また社会福祉士国家試験対策等についても、ゼミで取り組む予定です。

授業計画： 以下は計画案であり、ゼミで議論して取り組むなかで変わる場合があります。

- 1 オリエンテーション
- 2－8 介護民俗学に関する文献購読 全体を7回程度のゼミに分けて、議論。
- 9－11 高齢者施設での生活史の聞き取りのフィールドスタディ
- 12－14 そのまとめと補足学習（海外の福祉と文化の動向等）
- 15 前期まとめと後期の課題
- 16－23 ソーシャルワーク実習semester期間。実習はおおむね前半と後半に分かれる。その時期に実習に該当しない学生グループで、伝統文化の宝庫と言われる佐渡島でのフィールドワーク（2泊3日）を実施。費用は自費が基本。ただしゼミ活動への援助金等を活用。詳しくは初回のオリで説明。
- 24－27 卒業研究にむけた準備、テキスト購読 適宜指示する
- 28－30 佐渡調査のまとめとレポート提出、卒論にむけた問題意識の交流、進路の再確認と春休みの課題

担当教員からのメッセージ



これまで自分の町の地域文化に様々な思い出があるという人も多いと思います。このゼミでの学習やフィールドワークを通して、自分の町の良さを再発見でき、そこで自分が働く喜びを見いだせるようになるといいですね。

フィールドワークの体験を通して得られた成果を、自分の卒業研究や就職活動、国家試験勉強のモチベーションにつなげていけるような学びをめざしたいと思います。